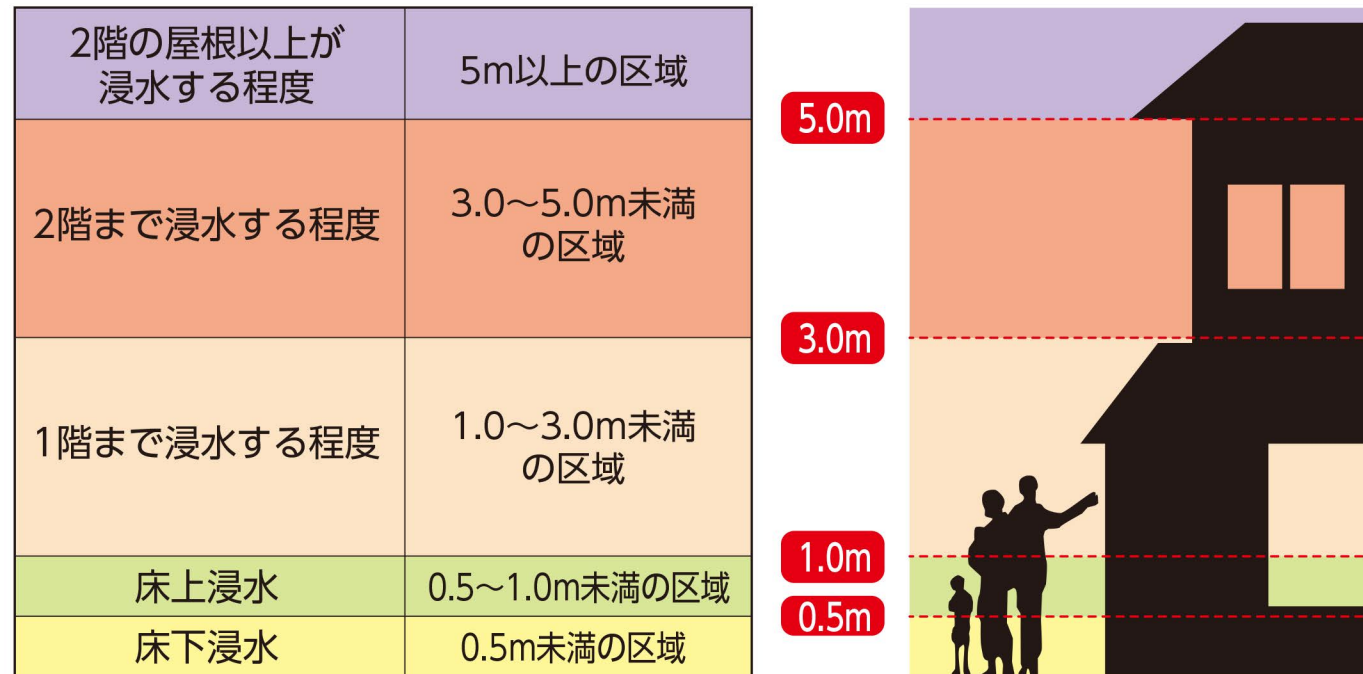


浸水想定リスクについて

- 洪水ハザードマップは「計画規模降雨(50年に1度の大雨)」を想定して作成しています。
- 川がはん濫しない場合でも、低い土地などは床上床下浸水などが起こる場合があります。
- 実際は、想定と異なる浸水深になったり、地図に表示された浸水区域以外にも浸水することがあります。

洪水ハザードマップ浸水深の目安



大雨・台風に備えましょう!!

警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします。

早め早めの行動が命を守ります

テレビ、ラジオ、気象庁ホームページなどで、最新の防災気象情報を収集するように心がけましょう。危機を感じたら自主的に避難することが重要です。「自分は大丈夫」と思わず、早めに避難しましょう。この「智頭町防災ハザードマップ」を活用し、周辺の危険箇所・避難場所を確認しておきましょう。

避難の情報

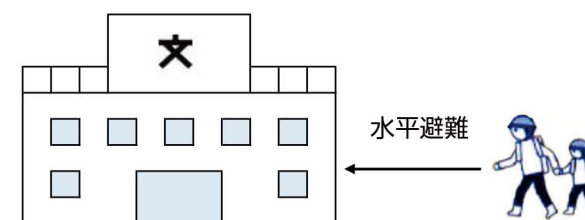
発令される避難情報等には以下のものがあります。必ずしも、この順番で発令されるとは限りません。「自らの命を守る」ため、必要な避難行動をとりましょう。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 〔智頭町が発令〕
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難場所へ避難をしましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。	避難指示 〔智頭町が発令〕
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 〔智頭町が発令〕
警戒レベル2	避難に備え、防災ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

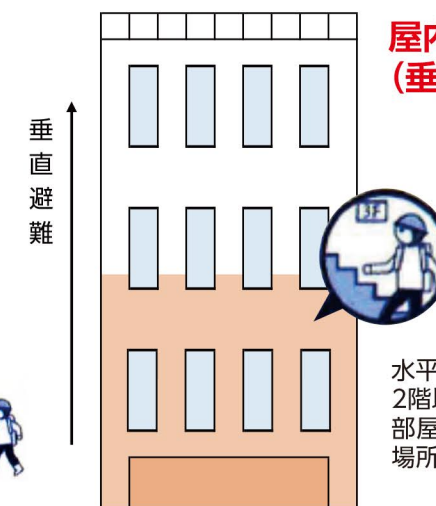
2つの避難行動

立ち退き避難(水平避難)

町が開設している浸水区域・土砂災害警戒区域以外の安全な場所へ避難しましょう。安全な場所にある親戚や知人の家に行くのも避難です。



屋内安全確保(垂直避難)



水平避難が難しい場合は、2階以上の山側から離れた部屋など、少しでも安全な場所に避難しましょう。